

第2号様式(第10条関係)

令和5年 4月28日

沖縄県議会議長 殿

議員名

玉城ノブ子



令和4年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和4年度 政務活動費収支報告書

議員名 玉城ノブ子

1 収 入 政務活動費 1,800,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費		
研 修 費		
広聴広報費	238,920	日本共産党沖縄県議団だより(159号)、玉城ノブ子議会だより(2月号)
要請陳情等活動費		
会 議 費	1,125	会議飲み物代
資料作成費		
資料購入費	104,564	タイムス、琉球新報、平和新聞、農民、新婦人、各新聞代金
事務所費	400,871	事務所家賃、電気料金、水道料金
事務費	203,330	電話代(インターネット代)、事務用品代、パソコン修理代金など
人件費	965,779	事務員2名分給与、社会保険料
合 計	1,914,589	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 0 円

(広聴広報費)

充当割 100%
県議団だれり第159号 2022年8月

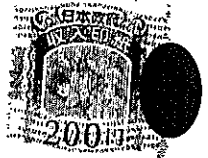
領 収 証

No 000631

得意先コード	お 得 意 先 名
	玉城 1771 殿

2022年 9月 17日

¥ 165,000



但し県議団だれり第159号 20.100部
上記金額正に領収致しました。2022年8月

134X4P.4C 2022
1d55K9

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-1 E2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

(広聴広報費)

充当割 $\frac{96}{100}$ 2023年2月 No6

充当額 ¥73,920

領 収 証

No 001033

得意先コード	お 得 意 先 名
	玉城 17 殿

2023年3月6日

¥ 77,000

但し 玉城17 議決会 総額 6,000 枚
上記金額正に領収致しました。A4X4P.4C

2023年2月11日

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印
	

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2

TEL (098) 861-9145

FAX (098) 861-9148

広報紙充当可能割合確認票

議員名

玉城ノブ子

広報紙名	紙面割合
玉城ノブ子県議 会だより No.6 2023年2 月	●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 99.5cm^2 ① $4.8\text{cm} \times 3.2\text{cm} = 15.4\text{cm}^2$ ② $4.8\text{cm} \times 4.6\text{cm} = 22.1\text{cm}^2$ ③ $4.7\text{cm} \times 1.2\text{cm} = 5.7\text{cm}^2$ ④ $4.5\text{cm} \times 12.5\text{cm} = 56.3\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (99.5\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 0.9601 \approx 96/100$ 以下
県議団だより第 159号	●全体面積: $36.4\text{cm} \times 25.7\text{cm} \times 4\text{面} = 3741.9\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 ① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 3741.9\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$ 以下

ご意見・ご要望、悩み事は・玉城ノブコ生活相談事務所にお気軽にお寄せ下さい。

日本共産党県議

玉城ノブコ



県議会
だより

発行：玉城ノブコ事務所 ☎994-9005

No.6 2023年2月

2023年

「戦争か平和か」沖縄を再び戦場にさせない

① 2023年明けましておめでとございます。気持ちも新たに新年を踏み出していることでしょうか。

昨年2月にロシアの侵略で世界に衝撃が走りました。戦争がいつ終結するかわかりません。

沖縄は復帰50年。建白書の実現で基地のない平和で豊かな沖縄を目指して復帰を求めて、歩んできました。

しかし、県民の願いは、まだ実現されていません。基地被害・米軍の事件、事故が多発しています。

参議院選挙では伊波洋一氏に続き、知事選挙においても玉城デニー知事が圧倒的な勝利をおさめました。

大きなご支援ありがとうございました。

もはや、辺野古に新基地建設は不可能です。

私は県議会で①新基地建設に糸満市の土砂を搬出させない、戦争遺跡の保存と活用②新型コロナウイルスから命とくらしを守る③市民の要求④医療費の窓口負担無料化、⑤ヤングケアラーへの支援、⑥学校・公共施設への生理用品の常備を⑦非正規職員の正規職員に⑧介護・福祉・保育士・幼稚園教諭⑨配置を⑩障がい者施設への助成の拡充⑪物価高騰から農業・漁業・漁港整備への支援⑫南部病院跡地へ支援など、デ

② ニー知事を支えて、市民、県民の要求を取り上げてきました。

岸田自公政権の「安保3文書」の改訂は「沖縄本島や先島諸島への軍

事要塞化は再び沖縄を戦場ににするもの」と県民に不安と怒りが広がっています。

子や孫の未来のため、基地のない平和な沖縄実現に頑張りましょう。

皆さんと力を合わせて、引き続き、頑張ります。今年もご支援をよろしくお願いいたします。



県議会議員玉城ノブ子

12月県議会

18歳までの医療費窓口負担の無料化実現を

一般質問を行います。

子育ての大きな不安の一つに、子供の病気があります。子供の病気の早期発見、早期治療を支え、全ての子供の健やかな成長を保障するために医療費の心配をなくすことは重要です。

どの子ども安心して、十分な医療を受けることができる環境をつくっていくことが必要です。

対象年齢を高校卒業(18歳)までとする自治体が入院、通院ともに4割を超えるなど、拡充されております。

どこに生まれ、どこに住ん

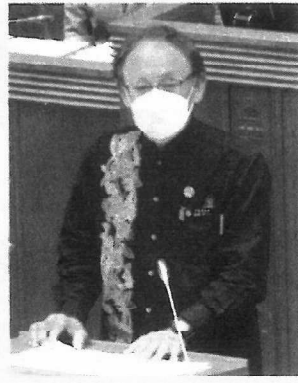


【玉城ノブコ県議】

でいても全ての子供に必要な医療が保障されるべきであります。

デニー知事の下、中学校卒業まで子ども医療費の窓口無料化が実現したことは、多くの県民から高い評価を受けております。県民の間から、今18歳までの子ども医療費の無料化の実施を求める要求が広がっております。

【玉城デニー知事】



沖縄県では、令和4年4月から県内全ての市町村において、通院対象年齢の中学校卒業までの拡大、窓口無料化が実施されております。国民健康保険の国庫負担減額調整措置、いわゆるペナルティが課題と

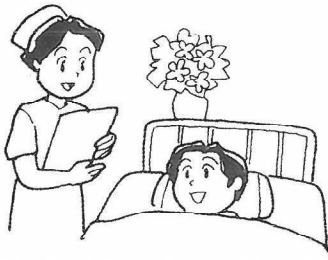
なっております。市町村を支援するため、今年度当初予算において、減額調整額に対する補助事業約4600万円を計上しております。

沖縄県としましては、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止について、国に要請する。

（高校卒業までの医療費無料化）について

は、無料化が中学卒業まで、令和4年4月から始まったばかりであります。

現在14市町村が既に実施しており、さらに検討中と回答していらつしやる市町村もあることから、財政状況や、実際の需要の状況なども踏まえ検討してまいります。



【玉城ノブコ県議】

ヤングケアラーへの具体的支援を

ヤングケアラー「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や

家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」の実態調査でその影響と課題について明らかになってきました。

県は小学校5年から高校3年までの児童生徒13万人を対象にアンケートを実施しました。今後、具体的な支援につなげる必要があると。

○宮平子ども生活福祉部長

調査結果については、今年度中に公表したい。今年度は学校と市町村の職員を対象に研修を実施している。

次年度は、相談機関や支援団体等と連携して相談

支援を行うヤングケアラーのコーディネートを行う県庁のほうに配置したい。

【玉城ノブコ県議】

学校、公共施設のトイレに生理用品の常備を

生理の貧困とは、経済的貧困だけでなく、配偶者からDV、保護者によるネグレクト、父子家庭の場合、父親からの理解が得られないなどによって生理用品が入り手できない。また、羞恥心から購入することが難しいというケースもあります。

女性の生理の問題解決は非常に重要です。国が継続的に予算を設け、各地方自治体へ交付し、恒久的な無償配布を実現すべきだと考えます。

県としても継続的に公共施設や学校のトイレに生理

また、ヤングケアラーだけでなく、ひとり親または低所得の世帯、困難を抱える世帯に対してヘルパーを派遣して、家庭のサポートをする計画です。

用品を常備することが大切だと考えます。

○半嶺教育長

公立学校においては、市町村からの配布や個人・団体等からの寄附などにより、生理用品が必要な児童生徒のために、保健室やトイレで無償配布を行っている。

小学校258校のうち97校、中学校141校のうち72校、県立高等学校66校のうち22校、特別支援学校24校のうち5校がトイレに生理用品を設置しております。

非正規職員(会計年度任用職員)を正規職員で配置すべき

〔玉城ノブコ県議〕

住民の生活を支える自治体の業務は、正規の常勤職員で行うべきです。政府の施策によって、正規職員が減らされ、非正規職員に替えられてきました。3年目を迎える2022年度末、雇い止めが危惧されております。

自治労連がアンケート調査を実施しております。

専門性と持続性が求められる職種にまで会計年度任用制度が適用されていること、やりがいと誇りを感じて働いていないがらほとんどの職員が十分とは言えない処遇に置かれていること、3年後には仕事を失うことになることで、大変不安な状況にあると訴えています。

民間労働者には、5年以上勤務すれば無期雇用に転換できるルールがあります。総務省の事務処理マニュアルにも3年終

了後の再度任用を否定しておりません。

スクールカウンセラーとか、スクールソーシャルワーカーは会計年度任用職員です。県は、私の12月の質問に、国に正規雇用を要望すると答弁がありました。

他の職種、例えば保育士や、看護師や児童相談員、図書館司書や特別学校の支援員等、高度の専門性、持続性が求められる職種については、常勤職員の配置が必要です。県立高校の就職支援員も専門性が必要な仕事であり、改善が必要ではないでしょうか。

○宮城総務部長

会計年度任用職員の職は、年度ごとにその必要性を吟味した上で配置し、任期は一会計年度の範囲内に限られております。

原則、公募によることとし、年度ごとに客観的な能力実証に基づいた任用を行なっています。

再度の任用については、今例外規定を設けております。①再度の任用がなければ育児休業を取得できない場合、②医師、獣医師など採用困難は、

〔玉城ノブコ県議〕

旧海軍壕の遺骨の発掘調査を

糸満市の93歳の新垣弘子先生から「沖繩戦で海軍兵として召集され、亡くなった兄の遺骨がまだ戻ってきていません。旧海軍司令部壕の発掘調査を早急に行つて遺骨を帰してほしい」との訴えがありました。

京都府のNPO法人の遺骨収集で、大腿骨や肋骨等の遺骨や遺留品が多数見つかったことが明らかになっています。

2回を超える再度の任用を今認めている。応募がなく欠員が生ずる場合は例外的な取扱いにすることを、現在、検討しています。



まだ未発掘の部分が残されております。遺骨収集は国の責任です。政府は戦没者の無念と遺族の心情に寄り添い、遺骨の収集と返還に全力を挙げるべきです。



〔玉城デニー知事〕

ご指摘の先の未公開箇所における遺骨収集を実施するよう国にしっかりと要請してまいります。

〔玉城ノブコ県議〕

就労事業所等の障害者施設への補助、助成の拡充を



○宮平子ども生活福祉部長
障害のある方が必要な支援を受けられるよう、障害者施設の整備に取り組みとともに、当該補助事業に要する十分な財政支援措置を講じるよう、国に要望を行います。